



〒975-0031  
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
TEL:(0244)26-1315  
FAX(0244)26-1318  
E-mail:sousou.kyoubu@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

## 令和6年度 相双域内表彰式

県全体38,069組の中から入賞された作品は、40組です。

### 十七字応募総数

- 県全体 38,069組  
相双域内 6,006組
- ・「絆部門」 4,258組
  - ・「ふるさと部門」 1,748組



写真提供：相馬野馬追執行委員会

### 最優秀作品（絆部門）

原町二小 一年 國分 康羽  
おかあさん あさがおさいた またさいた

母 國分 千里

あさがおの 花が咲くたび 笑顔咲く

### 最優秀作品（ふるさと部門）

中村一中 三年 庄子 明日翔  
ほら貝の 賑かな音が 染み渡る

母 庄子 佳代

騎馬武者の 歴史新たに 風五月

### 優秀作品（絆部門）

尚英中 三年 八巻 東真  
いつからか 僕を見上げて 叱る母

母 八巻 衣里子

いつの間に 目線が高く 言いにくい

### 優秀作品（ふるさと部門）

石神二小 四年 岡田 到真  
千年の 足音そろろう れきしあり

母 岡田 愛海

願いこめ 人馬一体 影のびる

尚英中 二年 濱部 匠

だんだんと もどってきたんだ 「ふるさと」が

母 濱部 理栄

あきらめない 広がる水田 父の意地

### 佳作作品（絆部門）

向陽中 二年 前川 渚  
おはようと そのためだけに 起きてきた

父 前川 克美

やっと来た その声まって 行って来ます



## 令和6年度ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 相双域内表彰式

- 1 目的 今年度の応募作品の中から、特に優れた作品を表彰することにより、異世代間の交流の促進や豊かな感性の醸成を図る。
  - 2 日時 令和6年12月13日（金）16時00分～16時30分
  - 3 場所 南相馬合同庁舎（南庁舎）401会議室
- (1) 開式のことば
  - (2) 表彰
  - (3) 主催者あいさつ
  - (4) 受賞者からの作品紹介
  - (5) 閉式のことば  
～記念写真撮影～



優秀賞、佳作に入賞された方々をお招きし、相双域内表彰式を行いました。作品の紹介では、作品に込めた気持ち、詠んだきっかけ、背景などの説明をいただきました。日頃の様子なども詳しく教えていただき、和やかな受賞式となりました。

おはようと そのためだけに 起きてきた

毎朝（どんな朝でも）、家族に「おはよう」と言える環境にいることが、幸せだなあと感じたからです。（子）

やっと来た その声まって 行って来ます

毎朝のちょっとした一時を楽しみにしています。（父）

千年の 足音そろろう れきしあり

千年以上も続く野馬追いは、何度見てもかっこいいと思います。（子）

願いこめ 人馬一体 影のびる

伝統行事の野馬追い。復興の願いと共に、年々出場する騎馬が増えてきたからです。いつまでも続けてほしいと思います。（母）



「だんだんと もどってきたんだ 『ふるさと』が

今年、父や祖父がやっている農業を見て、以前撮った写真のように戻ってきている（復興している）なあと感じたからです。（子）

「あきらめない 広がる水田 父の意地」

「どうしてもこの景色（美田）を取り戻したい。」という父の思いを詠みました。この気持ちが子だけでなく、孫の心にも届いて欲しいという願いを込めて、作りました。（母）

他にもユーモアあふれる作品や風景・事物の変化の様子をよく観察している作品がありました。来年1月には、心温まる「相双域内選考作品集」を発行いたします。是非ご覧ください。

（学校・公民館・図書館等へ配付予定です。）

